

「こうして僕らは役者になる」にギャラクシー賞奨励賞

～ 大垣ケーブルテレビ取材・制作番組 2017 年は初の「4 冠」に ～

大垣ケーブルテレビが、今年 5 月に放送した垂井曳山まつりのドキュメント番組「こうして僕らは役者になる」が、第 55 回ギャラクシー賞・テレビ部門上期の審査において、入賞にあと一歩及ばなかった番組に贈られる「奨励賞」を受賞することが決まりました。

弊社取材・制作番組は、今年、日本ケーブルテレビ連盟の<①番組アワード>、同連盟東海支部の<②自主制作番組コンテスト>、それに<③「地方の時代」映像祭>の 3 つの番組コンクールでそれぞれ入賞していましたが、今回の<④ギャラクシー賞奨励賞>受賞により、初めての「4 冠」を達成したことになります。

◆受賞番組について

番組名：垂井曳山まつり特番「こうして僕らは役者になる」

放送日：2017 年 5 月 15 日 番組尺：60 分

※ふるさと発の動画コンテンツサイト「じもテレ」で無料配信中です。

◆あらすじ

岐阜県は地元の人がお芝居を演じる地歌舞伎が古くから盛んです。毎年 5 月に行われる垂井曳山まつりもその一つ。東・西・中の 3 町が、山を曳き回し、小学生が役者をつとめ、子供歌舞伎を奉納しています。子どものころに舞台に立ち、大人になり、子どもが生まれたら、その子もまた舞台に立たせたいと願う。そんな家族のお祭りに、「芸事に終わりは無い」と言い切る、本物の歌舞伎役者がやってきました。名誉の当番山をつとめた東町の、本番直前 2 週間の稽古に密着。芸事のおもしろさに気づいていく子どもたちと、子どもたちを指導するおもしろさに気づいていく先生と、それを見守る家族や町の人々。みんなが役者になるお祭りの記録です。

今回の受賞を励みに、これからも真摯に誠実に取材を積み重ね、地域の皆様と分かち合えるような、「伝わる」番組制作を目指してまいります。いっそうのご指導ご鞭撻の程、心よりお願い申し上げます。

大垣ケーブルテレビ放送部

次長 大塚英司

放送部直通 0584-82-1207

ei-otsuka@ogaki-tv.co.jp